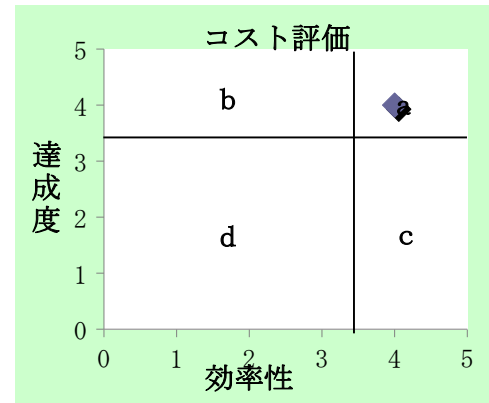
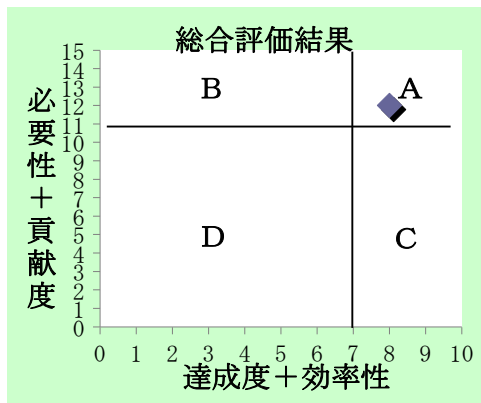


事務事業評価シート（行政評価委員会）

事務事業名称		新エネルギー推進事業	
評価項目		評価基準	点数
必要性	ニーズ	<p>今の社会状況や市民ニーズがあるか。</p> <p>「5」……ますますニーズが高くなっている。</p> <p>「4」……依然とニーズが高い。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……当初見てニーズは低くなりつつある。</p> <p>「1」……当初から見てニーズは低くなっている。</p>	4
	公共性	<p>(理由)</p> <p>太陽光発電システム設置に対するニーズは依然と高いが、木質バイオマスストーブ設置に対しては低下している。ただし、新エネルギー全体としては依然とニーズは高いと考える。</p>	
有効性	達成度	<p>市の民間等の役割から市が行う必要性があるか。</p> <p>「5」……行政以外にはできない事業である。</p> <p>「4」……民間でも可能だが行政が担うべき事業である。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……民間でも実施できる(実施している)事業である。</p> <p>「1」……むしろ民間等で行う事業である。</p>	4
	貢献度	<p>(理由)</p> <p>太陽光発電システム及び木質バイオマスストーブ設置に対する補助は行政が行うものであり、電気自動車用充電スタンドの設置についても民間で行うには高額のため、事業を推進するにあたっては行政が担うべきと考える。</p>	
有効性	達成度	<p>事業の効果・成果は十分か。</p> <p>「5」……目標以上の達成度である。</p> <p>「4」……概ね目標水準に達する。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……やや目標を下回り、改善が必要である。</p> <p>「1」……目標を大幅に下回り、根本的な見直しが必要である。</p>	4
	貢献度	<p>(理由)</p> <p>太陽光発電システム設置に対する補助は目標以上であり、電気自動車用充電スタンドも計画どおり行っている。</p> <p>ただし、木質バイオマスストーブ設置に対する補助については、目標に達していない。</p>	
有効性	達成度	<p>昨年と比べて事業の成果を挙げる。そして施策に反映されているか。</p> <p>「5」……昨年以上の成果をあげ、施策に非常に反映されている。</p> <p>「4」……昨年と同程度の成果をあげ、施策に反映されている。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……昨年よりの成果が低く、施策にあまり反映されていない。</p> <p>「1」……昨年よりの成果がなく、施策に全く反映されていない。</p>	4
	貢献度	<p>(理由)</p> <p>太陽光発電システムについては成果をあげている。</p> <p>市民の電気自動車の普及率が低く、電気自動車用充電スタンドの利用も少ないが、市外の利用者数が多くあることで成果はあげていると考える。</p>	

評価項目	評価基準	点数
効 率 性	事業(取り組み・成果)に対する経費・人員(コスト)は適切か。 「5」・・・事業に対するコストが少なく、かなり効率が良い。 「4」・・・事業に見合うコストである。 「3」・・・どちらとも言えない。 「2」・・・ややコストが上回り、改善が必要である。 「1」・・・事業に対するコストが過大で効率が悪い。	4
	(理由) 太陽光発電システム及び木質バイオマスストーブ設置に対する補助は、事業に見合うものとする。 電気自動車用充電スタンドについては設置、維持費用は高額であり、市民の電気自動車普及数及び利用者数だけを考えればコストに見合うものではない。 ※ 各委員の意見を集約すると評価点は「3」が妥当と考える。(事務局案)	



- A: 現時点では、現状(計画・予定)どおり事業をすすめることが妥当
- B: 事業の進め方の改善検討
- C: 事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要
- D: 事業の抜本的見直しが必要

- a: 現状どおり事業をすすめることが妥当
- b: 現在の有効性を維持してコストを下げる取り組みが必要
- c: コストパフォーマンスを維持して有効性増加が必要
- d: 事業の抜本的見直しが必要

【今後の方向性】

	事業の方向性
結 論	当該事業の今後の方向性はどうか。 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 廃 止
	(理由) ① ニーズの少なくなっている木質バイオマスストーブ設置費補助と今だニーズの高い太陽光発電システム設置費補助の比較配分を検討し、取り組んでいただきたい。 ② 電気自動車用充電スタンドについては、適正な受益者負担を求めるべきと考える。 ③ 電気自動車用充電スタンドの設置目的が観光客の利便性についても考慮されているのであれば今後設置する予定がある場合は、観光施設に急速充電スタンドを設置するように検討していただきたい。